

KONDOTEC REPORT 第57期中間報告書



平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

コンドーテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を实践すべく環境問題に取り組んでおります。



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第 57 期中間期（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 11 月



代表取締役社長 菅原 昭 名誉会長 近藤 純位

当中間期の業績

平成 20 年 9 月中間期の業績結果

売上高

16,913 百万円
(前年同期比+9.8%)

営業利益

1,231 百万円
(前年同期比+46.3%)

経常利益

1,228 百万円
(前年同期比+45.6%)

中間純利益

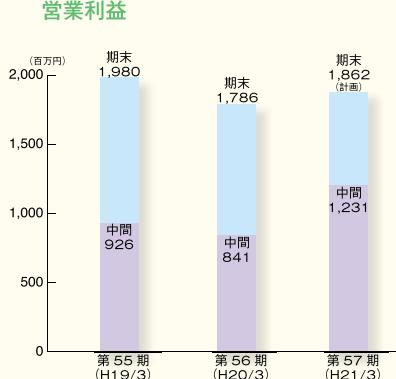
701 百万円
(前年同期比+45.1%)

売上高



売上高 16,913 百万円
(前年同期比+9.8%)

営業利益



営業利益 1,231 百万円
(前年同期比+46.3%)

経常利益



経常利益 1,228 百万円
(前年同期比+45.6%)

売上高

当中間期の日本経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や原油をはじめとする原材料価格の高騰による企業収益の圧迫と諸物価の上昇による個人消費の冷え込みなどにより、景気減速感是一段と増し、先行き不透明感を強めながら推移いたしました。

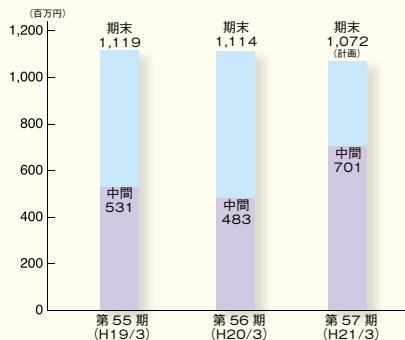
当社の関連業界におきましては、改正建築基準法の影響により前期大幅に減少した建築物の着工は、回復の兆しは見せているものの低調に推移し、また、鋼材価格の上昇が続き、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は販売力及び生産力の強化を図り、業績向上に努めました結果、当中間期の売上高は製品が3,764百万円(前年同期比17.3%増)、商品が13,149百万円(同7.8%増)となり、売上高合計は16,913百万円(同9.8%増)と増収になりました。

利益

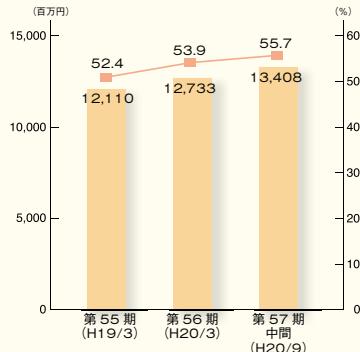
利益につきましては、原材料価格等の上昇により、仕入価格や鋼材などのコスト上昇が続いておりますが、適正な販売価格に転嫁することにより、売上総利益率は前年同期の21.9%から1.2ポイント上昇し、23.1%となりました。販売費及び一般管理費におきましては、経費の削減に努め、対売上高比率は前年同期の16.5%から15.8%と0.7ポイント改善し、2,671百万円(同5.2%増)となりました。その結果、営業利益は1,231百万円(同46.3%増)、経常利益は1,228百万円(同45.6%増)、中間純利益は701百万円(同45.1%増)と増益になりました。

当期純利益



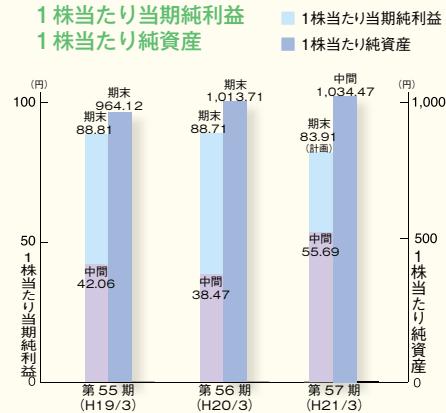
当期純利益 701百万円
(前年同期比+45.1%)

純資産・自己資本比率



自己資本比率 55.7%
(前期比+1.8%)

1株当たり当期純利益 1株当たり純資産



1株当たり当期純利益 55.69円
(前年同期比+17.22円)

1株当たり純資産 1,034.47円
(前期比+25.62円)

通期の見通し

平成21年3月期の通期業績予想

売上高

34,000百万円
(前期比+8.1%)

営業利益

1,862百万円
(前期比+4.2%)

経常利益

1,869百万円
(前期比+5.5%)

当期純利益

1,072百万円
(前期比△3.8%)

通期の見通しにつきましては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱、為替の急激な変動、原材料コストの増大等の影響に加え、米国経済減速の影響など懸念材料は多く、世界経済は当面停滞を続ける可能性が高いものと思われまます。

当社の関連業界におきましては、国内景気の減速による建設需要の減退など、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われまます。

このような状況のもとで、当社は次のような経営戦略を進め、業績向上と業容拡大を図ります。

経営戦略

①重点施策の徹底

利益率の高い自社製品・輸入商材・新商材の拡販及び新規販売先の開拓という4つの重点施策を徹底し、既存市場でのシェアアップを図ります。

②新業種への事業拡大

環境、街路・緑化、産業廃棄物などの新業種への事業の拡大を図っております。

また、「ホームセンター事業部」は従来の商流とは別に販売の拡大を図り、順調に業績を上げております。

③新規出店による販売力の増強

今後の成長を確保するためには、在庫を持ち、即納体制を整えた地域密着型の「店舗展開」が必要不可欠と考え、継続して每期 2~3カ店の出店を計画しております。

④物流コストの削減

中国の現地企業と物流業務の委託契約を結び、物流倉庫を設置いたしました。

現地生産の商品を現地で仕分けし、日本全国の当社営業拠点へ直送することにより、「輸入商材の比率アップ」と「日本国内での物流コスト削減」に貢献しております。

⑤人材の育成

厳しい経営環境の中、業界の勝ち組として勝ち進むためには「人材の育成」が不可欠であると考えております。

そのため、新入社員からの一貫教育としての若手社員の育成研修や新任管理者研修、営業・製造・業務・事務部門の専門能力向上研修、ジョブローテーション、自己能力開発のための通信教育などにより、より高い成果を生み出し、次代を担うことができる人材の育成に努めております。

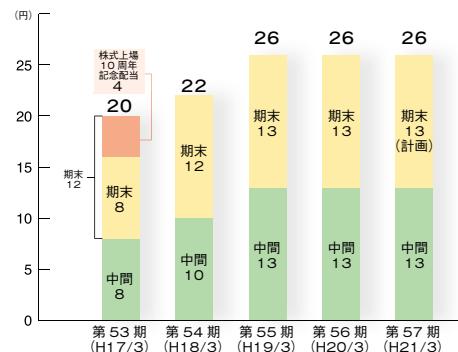
配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」と「企業価値の増大」を図りながら、配当することを基本方針としております。

この方針のもと、平成 21 年 3 月期の間配当金は 1 株につき 13 円とさせていただきます。

1. 中間配当金 1 株につき 13 円
2. 支払開始日 平成 20 年 11 月 28 日（金）

1 株当たり配当金



コンドーテックはIR活動を積極的に展開しています!

当社は、個人投資家の方への情報発信として、全国各地で会社説明会の開催や IR フェア等に出展し、積極的に IR 活動に取り組んでおります。

●個人投資家向け会社説明会の開催

当社社長が直接、決算や経営戦略などの説明を行います個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。当社に対するご理解を深めていただくため、今後も個人投資家の皆様との対話（双方向コミュニケーション）を継続的に実施していくことで、より一層の企業価値向上に努めてまいります。今後の会社説明会等の予定につきましては、順次、当社ホームページの IR 情報に掲載していきます。

<p>名古屋 平成20年6月5日(木)</p> <p>会場：東海東京証券㈱名古屋本社 (名古屋市中村区)</p> <p>出席：約 160 名</p> 	<p>福岡 平成20年7月29日(火)</p> <p>会場：野村証券㈱福岡支店 (福岡市中央区)</p> <p>出席：約 100 名</p> 	<p>大阪 平成20年9月9日(火)</p> <p>会場：大阪朝日生命館 (大阪市中央区)</p> <p>出席：約 100 名</p> 	<p>大阪 平成20年9月11日(木)</p> <p>会場：三菱UFJ証券㈱大阪支店 (大阪市中央区)</p> <p>出席：約 80 名</p> 
--	--	--	--

●IRフェアへ出展

名古屋国際会議場で開催されました野村証券㈱主催の個人投資家向け IR フェアへ出展し、当社ブースには約600人を超える方々に訪れていただきました。

名古屋 平成20年9月19日(金)～9月20日(土)

東海三県ノムラ資産管理フェア2008
会場：名古屋国際会議場
(名古屋市熱田区)
来場者数はフェア全体累計で約25,000名



●会社説明会の模様をインターネットにて動画配信

また、直接会場へ足を運ばれなくとも、当社が行いました会社説明会の模様は、当社ホームページから見ていただくことができます。ぜひご覧下さい。



信託型従業員持株インセンティブ・プラン『E-Ship』を導入

「E-Ship」は、福利厚生への増進策として、従業員のさらなる自社株式取得及び保有を促進する制度で、信託から社員持株会への当社株式の売却を通じて信託内に累積した財産を従業員にインセンティブとして与える制度です。従業員の株価への意識を高め、企業価値向上を目指して業務遂行を行うことにより、企業価値向上と従業員の財産形成を同時に達成することを狙いとして、導入いたしました。詳しくは当社ホームページのニュースリリース「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入について」をご覧ください。

PICK UP PRODUCTS

製・商品のご紹介

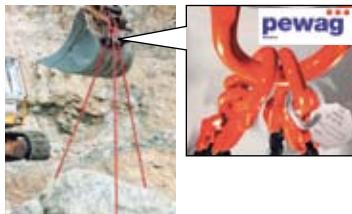
当社では、様々な場面で使用されますおよそ 40,000 点の製・商品を扱っております。
その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

チェーン

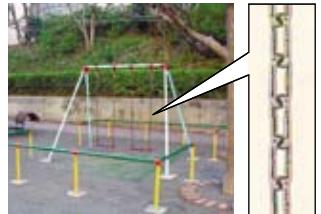
チェーンのことならコンドーテック!

当社では、用途に応じて様々なチェーンを取り扱っております。
その用途は、建設、荷役から船舶、コンベヤ、漁業、装飾に至るまで幅広く使われております。

例えば、
重量物を吊り上げるときに
使用される
「チェーンスリング」
(ペワグ社(オーストリア)製)



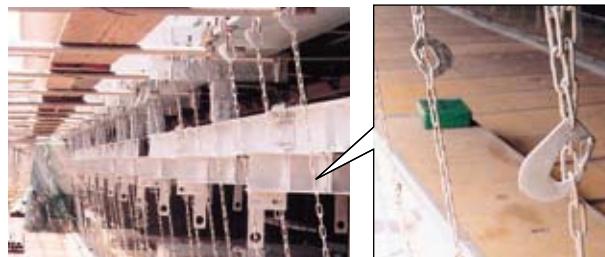
また、
公園などの遊具に
使用される
「ブランコチェーン」



特に当社製品の「足場吊りチェーン」は自信をもっておすすめします。

この足場吊りチェーンは建築現場や高所作業用の足場を支える重要な部材です。そのため、もし強度が弱かったりすると大変危険なことになります。

当社九州工場は仮設工業会の認定検査に合格しており、耐力と性能を保証しております。



<認定工場>

仮設工業会認定第1号の足場吊りチェーン 九州工場

認定番号 0809-01601-22

認定品目 つりチェーン

K型、KS型、KSR型、KO型、

KOO型、KSP型、KN型



(注) 仮設工業会認定：建設工事における仮設設備の安全を確保し、構造、使用基準の設定や技術的指導を行うため、社団法人仮設工業会の認定制度が確立されております。

FINANCIAL STATEMENTS

財務諸表

■中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成 20 年 9 月 30 日現在)	前 期 (平成 20 年 3 月 31 日現在)	増 減
■資産の部			
流動資産	15,102	14,379	723
現金及び預金	2,159	2,208	△ 48
① 受取手形	5,127	4,838	289
① 売掛金	4,671	4,463	208
② 商品	1,673	1,485	188
製品	558	519	39
原材料	362	369	△6
仕掛品	118	139	△20
貯蔵品	67	42	25
その他の流動資産	410	351	59
貸倒引当金	△ 49	△ 38	△ 10
固定資産	8,968	9,229	△260
有形固定資産	7,894	8,044	△149
建物	2,085	2,043	42
機械及び装置	787	840	△52
土地	4,799	4,804	△4
その他の有形固定資産	221	356	△134
無形固定資産	33	32	1
投資その他の資産	1,040	1,152	△112
③ 投資有価証券	852	1,007	△154
その他の投資等	254	211	43
貸倒引当金	△ 67	△ 66	△ 1
資産合計	24,071	23,608	462

Point ① 受取手形・売掛金

売上高の増加に伴い、受取手形及び売掛金が増加いたしました。

Point ② 商品

鋼材等の値上げに伴う仕入単価の上昇などにより増加いたしました。

Point ③ 投資有価証券

投資有価証券の時価評価替えにより減少いたしました。

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成 20 年 9 月 30 日現在)	前 期 (平成 20 年 3 月 31 日現在)	増 減
■負債の部			
流動負債	9,349	9,382	△33
④ 支払手形	2,784	3,995	△1,211
買掛金	1,522	1,854	△331
④ 未払金	3,692	2,053	1,639
未払法人税等	456	503	△47
その他の流動負債	892	976	△83
固定負債	1,313	1,492	△178
退職給付引当金	965	932	32
その他の固定負債	348	559	△210
負債合計	10,662	10,874	△211
■純資産の部			
株主資本	14,504	13,750	754
資本金	2,328	2,328	－
資本剰余金	2,096	2,096	－
⑤ 利益剰余金	10,578	10,176	402
⑥ 自己株式	△498	△849	351
評価・換算差額等	△1,096	△1,016	△79
その他有価証券評価差額金	479	570	△91
繰延ヘッジ損益	△6	△18	11
土地再評価差額金	△1,569	△1,569	△0
純資産合計	13,408	12,733	674
負債・純資産合計	24,071	23,608	462

Point ④ 支払手形・未払金

支払手形に代えて一括支払信託の導入により、支払手形が減少し、未払金が増加いたしました。

Point ⑤ 利益剰余金

利益の増加に伴い、繰越利益剰余金が増加いたしました。

Point ⑥ 自己株式

信託型従業員持株インセンティブ・プラン導入に伴い自己株式 40 万株を売却したことなどにより、自己株式が 351 百万円減少いたしました。

■ 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	増 減
	(平成 20 年 4 月 1 日から 平成 20 年 9 月 30 日まで)	(平成 19 年 4 月 1 日から 平成 19 年 9 月 30 日まで)	
⑦ 売上高	16,913	15,405	1,508
売上原価	13,011	12,025	986
⑧ 売上総利益	3,902	3,380	522
販売費及び一般管理費	2,671	2,538	132
営業利益	1,231	841	389
営業外収益	23	25	△1
受取利息配当金	1	1	0
仕入割引	12	12	△0
その他の営業外収益	10	11	△1
営業外費用	26	23	3
売上割引	21	19	2
その他の営業外費用	4	3	0
経常利益	1,228	843	384
特別利益	0	0	0
固定資産処分益	—	0	△0
投資有価証券売却益	0	—	0
特別損失	19	2	17
固定資産除売却損	5	2	3
棚卸資産評価損	14	—	14
税引前中間純利益	1,209	841	367
法人税・住民税及び事業税	436	338	97
法人税等調整額	71	19	52
中間純利益	701	483	217

Point ⑦ 売上高

販売力及び生産能力の強化を図り、前年同期比 +9.8% となりました。

Point ⑧ 売上総利益

原材料価格等の上昇による仕入価格や鋼材などのコスト上昇を適正な販売価格に転嫁することにより、売上総利益率は前年同期の 21.9% から 1.2 ポイント上昇し、23.1% となりました。

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(平成 20 年 4 月 1 日から 平成 20 年 9 月 30 日まで)	(平成 19 年 4 月 1 日から 平成 19 年 9 月 30 日まで)	(平成 19 年 4 月 1 日から 平成 20 年 3 月 31 日まで)
⑨ 営業活動による キャッシュ・フロー	163	69	1,405
⑩ 投資活動による キャッシュ・フロー	△264	△570	△642
⑪ 財務活動による キャッシュ・フロー	52	△163	△326
現金及び現金同等物に 係る換算差額	—	△0	△3
現金及び現金同等物の 増減額	△48	△664	432
現金及び現金同等物の 期首残高	2,208	1,775	1,775
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	2,159	1,111	2,208

当中間期における現金及び現金同等物の中間期末残高は 2,159 百万円となり、前期末と比べ 48 百万円減少となりました。主な要因は次のとおりです。

Point ⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は法人税等の支払い、売上債権の増加などの減少要因がりましたが、税引前中間純利益及び仕入債務の増加などの増加要因により 163 百万円の収入となりました。

Point ⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は建物、機械及び装置などの有形固定資産の支払いなどにより、264 百万円の支出となりました。

Point ⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は配当金の支払いによる支出がりましたが、自己株式の売却による収入などにより 52 百万円の収入となりました。

CORPORATE DATA

会社概要 平成20年9月30日現在

- 社 名 コンドーテック株式会社
KONDOTEK INC.
- 本 社 大阪市西区境川二丁目2番90号
- 設 立 昭和28年1月14日
- 資 本 金 23億2,810万円
- 従 業 員 578名

主要な事業内容

当社は、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材及び鉄螺の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

役 員

- | | | |
|------------|-----|-----|
| 代表取締役社長 | 菅 原 | 昭 茂 |
| 常務取締役 | 平 田 | 重 男 |
| 取締役 | 堀 江 | 重 彦 |
| 取締役 | 近 藤 | 勝 清 |
| 取締役 | 山 田 | 田 清 |
| 取締役 | 矢羽田 | 秀 人 |
| 取締役 | 安 藤 | 朋 也 |
| 取締役 | 滝 水 | 莞 爾 |
| 取締役（社外取締役） | 徳 田 | 勝 夫 |
| 常勤監査役 | 河 瀬 | 哲 示 |
| 監査役（社外監査役） | 稲 田 | 龍 一 |
| 監査役（社外監査役） | 北 山 | 謙 一 |

主な製品・商品 | The main product and commodity

建設資材

仮設足場、当板・本体、丸セパレーター、Uクリップ、アンカーインサート、建設板物、現場用品、河川・港湾土木資材、コンテナバッグ



コンテナバッグの河川での使用風景

鉄 螺

ハイテンションボルト、ボルトナット類、JSSアンカーボルト、Zマーク金物、Cマーク金物



JSSアンカーボルト

建物の基礎工事風景

金物類

ターンバックル、ブレース、シャックル、ワイヤクリップ、ロープ附属品、ウインチ・ブロック類



ターンバックル
ブレース

仮設住宅での使用風景

チェーン

足場吊りチェーン、ステンレスチェーン、強力チェーン、各種リンクチェーン、チェーンスリング



足場吊りチェーン

高速道路の補修作業風景

ワイヤロープ

JISロープ、加工ロープ、繊維ロープ、ベルトスリング、モック、鋼より線



ロック止めワイヤロープ

テトラポッドを吊り上げる風景

その他

機械工具、施工用品、環境関連資材、街路・緑化資材



グレーチング

STOCK INFORMATION

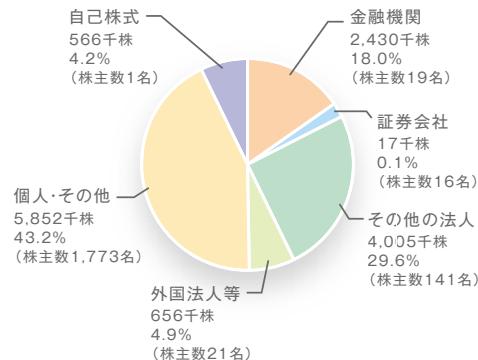
株式情報 平成20年9月30日現在

■ 発行可能株式総数	30,000,000 株
■ 発行済株式総数	13,528,500 株
■ 株主数	1,971 名
■ 単元株式数	100 株
■ 大株主	

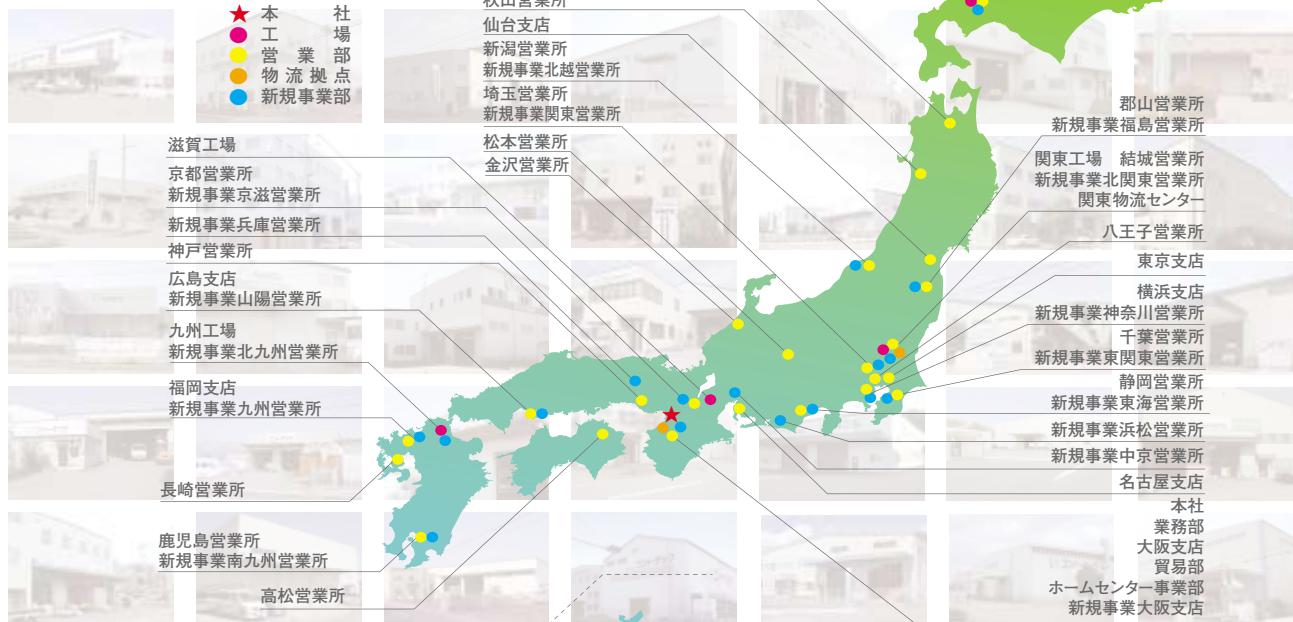
株主名	持株数	出資比率
(有)藤和興産	1,507千株	11.6%
近藤 勝彦	664千株	5.1%
大阪中小企業投資育成(株)	643千株	5.0%
コンドーテック社員持株会	570千株	4.4%
(株)Fプランニング	450千株	3.5%
近藤 純位	401千株	3.1%
野村信託銀行(株)(社員持株会専用信託口)	394千株	3.0%
近藤 延滋	379千株	2.9%
(株)三菱東京UFJ銀行	376千株	2.9%
近藤 雅英	332千株	2.6%

(注)自己株式566千株は含めておりません。

所有者別株式分布状況



営業所及び工場



■コンドータックホームページのご案内

決算ハイライト、ニュースリリース、決算短信、有価証券報告書などの開示情報のほか、取扱製品・商品など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧下さい。



インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドータック

検索

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日～3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎0120 - 094 - 777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店（下記ご注意ご参照） ※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続用紙のみとなりますので、ご注意下さい。 ☎0120 - 244 - 479（本店証券代行部）☎0120 - 684 - 479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第2部 大阪証券取引所市場第2部

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



2008年11月発行

コンドータック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL 06-6582-8441 ir24@kondotec.co.jp



この印刷物は、環境に配慮し、大豆インキを使用しております。

当報告書には財政状態および経営成績に関する将来予測の記述が含まれています。

この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれています。